

(仮称) 加美町まちづくり基本条例に関する町民懇談会 ＜町民意見等のまとめ＞

1. 目的

加美町まちづくり基本条例策定委員会で取りまとめた、(仮称) 加美町まちづくり基本条例の中間報告(骨子案)について、内容を町民に説明するとともに、基本条例が共感を持って受け入れられるものとするために意見・提案を集約する。

2. 日時 平成27年8月9日(日) 10:00～12:00

3. 場所 中新田公民館 大ホール

4. 参加者 一般町民18名
加美町まちづくり基本条例策定委員会委員10名
宮城大学2名
町長、副町長、協働のまちづくり推進課4名

5. 内容

(1) (仮称)加美町まちづくり基本条例骨子案の説明

➤協働のまちづくり推進課より説明

(2) 意見交換

1) 主な論点と参考となる事例の紹介

➤宮城大学 古川部長より説明

2) グループ討議(論点ごとの話し合い)

➤3グループに分かれて討議

➤論点(①前文、②町民の定義、③コミュニティ、④まちづくりサポーター、⑤未成年者のまちづくりに参加する権利)

3) グループ発表・全体討議

➤別紙

(3) 全体まとめ

➤宮城大学 徳永教授より

基本条例の位置付け・意義を町民の方々に理解していただき、共有していかなければならない。そのためにも、前向きな前文にする必要がある。住民の参加・協働においては、地域で身の回りのことから始め、自分の子どもも参加させるようにする必要があると思う。この条例をきっかけに、町民が周りを巻き込みながら主体的にまちづくりに関わってより良い町にしていくという意識改革が重要だと思う。

グループ A

| 論点 | 意見 | | | |
|------------|--|---|--|--|
| 前文 | 前文 町民憲章で十分では？ 町民憲章は他市町にも誇れるもの！ | 議会の役割 町民の意見の代弁者となっているか？ 町民の意見をうまくまちづくりに生かす仕組み | 議会も行政も町民の意見を聞いて判断 議員、町長が変わっても変化しないルール | 虎舞、田植踊、切込焼 なぜこの3つ？ →他にもある 前向き、発展的なビジョンがほしい！ |
| 町民の定義 | 町民定義 なぜこの3つ？ →他にもある 町に議会を含めていいのか？ | 参画 町民が意識することが大事！ 参画のイメージを少し膨らませるようにしては？ | 行政、議会を縛るようなものにできるのか？ まちづくりに多くの方々が関わることでのリスクは？ | 議会は監視機関だけではない 政策立案の役割もある |
| コミュニティ | コミュニティと行政区があるけど、実情はもっと細かい | 契約講の役割、位置付けは？ 青年部、契約講も大事なコミュニティの一つ | 行政区を下支えしている組織がある 小さい行政区では難しい →地区公民館の協力 | 公民館がコミュニティの第三セクターになっている |
| まちづくりサポーター | 町民とまちづくりサポーターの関係 | まちづくりサポーターの言葉の定義 | いろんところで使われているから分からない | |
| 若者 | 18歳になってからでは遅い もっと早くからまちづくり参加を高校生以上 | 中新田高校に限らず多くの高校生の参加 | 若者のまちづくり参加が当たり前の町に | |
| その他 | 基本条例 情報公開条例 個人情報条例 整合性は？ | 町にはいろんな財産がある 企業から町の資源を生かした企画提案がある といい | | |

【発表の概要】

- 議会が町民の意見を吸い上げれば、まちづくり基本条例は必要ではないのではないかという疑問の意見が出たが、「住民が主体となって参加する」ということなので、町民はこのまちづくり基本条例についてしっかり理解することが必要ではないか。
- 前文には課題解決だけでなく、前向きで発展的な文言を入れることが必要ではないか。
- 「町」の定義について、議会と行政となっているが、議会基本条例と整合性がとれるのか。
- コミュニティについて、行政区やコミュニティだけでなく、契約講が強い役割を担っている地域もあるので、そうした地域の現状を把握して文言を考えていただきたい。
- 若者について、選挙権の年齢が18歳まで引き下げられるが、まちづくりへの参加は高校生も参加するような内容としてはどうか。
- 町民一人ひとりが自覚し、まちづくり基本条例を理解し活用できるものになればいい。

グループ B

| 論点 | 意見 | | | |
|------------|---|--|--------------------------------|-----------------------------------|
| 前文 | <p>自分の問題としてどのように喚起していくのか</p> <p>「ときめく言葉」や「キャッチコピー」がない</p> | <p>若い世代を巻き込んでいく。若い世代をどう生かすか</p> <p>まちづくりについての関心に温度差がある</p> | <p>まちづくりの主役は「あなた」一人ひとり！</p> | <p>町の良い所をもっと小学生にすり込む必要がある</p> |
| 町民の定義 | <p>人に着目。「事業者」でよい</p> | <p>“事業所”の方が広い意味でとらえられる</p> | <p>加美町を外から見た意見が入るとよい</p> | |
| コミュニティ | <p>地域でも参加する人は決まっている</p> <p>集落・地域を土台にして発展させる</p> | <p>若い世代は忙しい。どう巻き込むか</p> | <p>「自分のこと」ととらえられるような言葉が欲しい</p> | <p>全体で行うと参加しづらい。地域の規模が小さくても困る</p> |
| まちづくりサポーター | <p>交流人口の発信力が弱い</p> | <p>縁のある人と交流する、つなぐ</p> | <p>グリーン・ツーリズムで交流のある人</p> | <p>国立音楽院の誘致に関わった人</p> |
| 若者 | <p>子ども議会、若者議会は有効</p> | <p>諮問委員会を設置聞く場をつくる</p> | <p>提案したことが実現すれば自信になる</p> | <p>小さいうちからの参加を意識させる</p> |

【発表の概要】

- 前文について、まちづくりへの関心が人によって温度差が広がっている。前文には、「これはあなたの問題なんですよ、あなたがまちづくりの主役ですよ」という一人ひとりに届くように、ときめく言葉やキャッチコピー等を入れてメッセージ性をもう少し強めてはどうか。
- 若者について、まちづくりへの参加が少ないので、どうやって巻き込んでいくか。
- 「町民」の定義について、「事業者」であれば人に由来するし、「事業所」であれば企業になるので、その捉え方を整理してはどうか。
- コミュニティについて、隣近所や集落など顔の見える範囲からしっかり土台をつくり、みんなで機運を高めていく必要がある。若者の参加も土台をつくり直さないとは対処できないのではないか。
- まちづくりサポーターについて、発信力がまだまだ弱い。まずは、縁のある人とのつながったり、グリーン・ツーリズムなどの交流の中から少しずつ応援団を確保していく。また、町出身者の会などを活用してはどうか。
- 若者について、小さいうちから参加意識を高めないと間に合わない。単なる参加ではなく、子ども議会や諮問委員会などを通じて、子どもたちのアイデアが実現するという事になればいいのではないか。

グループ C

意見

【集まる場】

隣同士の関係が希薄
近所の人たちで気軽に
集まれる場（井戸端会
議）があったらいいの
ではないか？
↓
孤独死が防げる等
情報が得られる

少子化、高齢化の時代、
読み聞かせの場、井戸
端会議、子ども会組織
など、少年・青年・中年・
壮年・老年が集まる場
をつかってほしい

【伝える場】

高齢者の知恵
↓
伝える
読む力、伝える力が必
要！
これら（高齢者の知恵）が
途絶えないよう、いろい
ろな年代の人が集まって
伝え合うことが大事！

PTA との連携
↓
本に興味を持
ってもらおう

【話し合う場】

みんなで話し合う場が
必要（高齢者にとつて
も）
ミニデイサービスのよ
うに体を動かしたり、
楽しいことだと参加す
る

【情報の収集・発信】

役場内では情報を得ら
れない。
意見をいろいろな場で
聞いて情報収集する。
役場の人がある場へ行
って情報を集める

そこで役場から情報を
出す
そういう課も必要！
集会所に来て情報を出
してほしい

現実を役場の人に見
てもらいたい！
↓
案を出してほしい
開かれた役場に

役場が出ていかないと
ダメ！

【場への参加】

声掛けが大事
↓
参加できる雰囲気づく
り
小さいグループから発
信していくことが大事

気軽に子どもに声をか
けられない
↓
安心して声をかけられ
る雰囲気が大事
大人からあいさつした
い

食を学んで伝える
楽しんで参加する
気楽に参加できる

挨拶一つでも大事！

【コミュニティ】

コミュニティが変わっ
てきた
↓
戻ることができるの
か？
部分的に対応できる
が、町民がどうすべき
か？

コミュニティで地域ビ
ジョンを作る
↓
変わっていく
役場職員が一住民とし
て関われる

いろいろな活動が大
事！
防災訓練の後の芋煮会
など

町民憲章が大事！
（前文）自治意識、協働

コミュニティの中に役
場の人を巻き込むこと
が必要！

地域の中で何ができ
るか？
（自治意識が高い→民
主主義がある）
リーダーづくりが大事

【町民の意識】

住民の意識の根本つ
て何？
↓
気候風土を自覚して
いない
↓
メンタリティが作ら
れてきた。自分たちが
作る必要がある

【まちづくり】

まちづくりって何？
↓
分からなくなってきた
基本的なこと、ルール
は必要だが、具体的
なことは各自でやっては
無理！

形だけでない活動が必
要である

いろいろなものがまち
づくり
↓
平仮名だからいい！

【人材育成】

職員の人が会活動に入
ってもらって身近
に感じる。
若い人を育成するの
に
↓
どういう手段が必要
か？

中高生を育てる
役場の人から

【その他】

加美町に3つの町が合
併したランドマークが
ない
↓
そういうものが必要
だ！

【発表の概要】

- 地域活動への役場職員の参加がなく、現場に来て地域の人たちを話をするのが少ない。現場の状況を把握しないで業務をしているのではないか。地域活動においては、役場職員であろうと地域住民の一人である。役場職員が参加するように様々な形での呼びかけが必要である。若い職員も含めて様々な現場に足を運んでもらいたい。
- 地域活動においては、行政区や班が抱えている問題がある。行政に頼らない地域づくりとして、地域ビジョンを打ち出すくらいのことが必要ではないか。近所の人たちと話し合う場もできる。町民も地域活動を積極的に行うことが重要。
- 町民も意識を高めていくことが必要である。地域リーダーを中心に様々な活動を行っていく。また、地域の人たちへ参加の呼びかけが重要であり、地域活動に参加していない役場を退職した人にも呼びかけをすることで、地域が変わるのではないか。
- 地域が求めるニーズは役場職員の積極的な活動であり、期待は大きい。
- 加美町の人々は厳しい気候風土の中で暮らし続けてきた。今後もこの町で暮らし続けていくためには、地域の人たちが手を携えていかなければいけないということを前文に加えてはどうか。